



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月12日

上場会社名 株式会社メドレックス 上場取引所 東
 コード番号 4586 URL http://www.medrx.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松村眞良
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部長 (氏名)北垣栄一 (TEL)03(3664)9665
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	9	△29.9	△268	—	△256	—	△236	—
27年12月期第1四半期	14	467.5	△243	—	△245	—	△134	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △225百万円(—%) 27年12月期第1四半期 △133百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△33.33	—
27年12月期第1四半期	△20.11	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	3,090	2,933	93.5
27年12月期	2,977	2,772	91.8

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 2,888百万円 27年12月期 2,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14	△1.4	△958	—	△947	—	△924	—	△120.62
通期	29	△20.3	△1,608	—	△1,594	—	△1,572	—	△196.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期 1 Q	7,668,670 株	27年12月期	6,889,700 株
28年12月期 1 Q	— 株	27年12月期	— 株
28年12月期 1 Q	7,106,094 株	27年12月期 1 Q	6,689,700 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループではイオン液体を利用した独自の経皮製剤技術ILTS®(Ionic Liquid Transdermal System)を用いて、低分子から高分子に至る様々な有効成分の経皮吸収性を飛躍的に向上させることにより、新しい付加価値を持った医薬品を開発することを事業の中核に据え、当社グループの最重要パイプラインである消炎鎮痛貼付剤ETOREAT®(エトドラクテープ剤)を始めとして、MRX-10XT:中枢性鎮痛貼付剤(オキシコドンテープ剤)、MRX-5LBT:帯状疱疹後の神経疼痛治療薬(リドカインテープ剤)、MRX-4TZT:痙性麻痺治療薬(チザニジンテープ剤)の4つのパイプラインについて製品化に向けた開発を推し進めるとともに、後続パイプラインの研究開発及び提携候補先との契約交渉を行うなど、事業の拡大を図ってきました。ETOREAT®については、米国の規制当局であるFDA(アメリカ食品医薬品局:Food and Drug Administration)との承認申請に必要な追加臨床試験に関する協議により、急性疼痛の一種として合意したDOMS(Delayed Onset Muscle Soreness、遅発性筋肉痛)に関する病態モデルでの臨床試験を平成28年3月に開始いたしました。追加臨床試験1本目の結果判明は平成28年7~8月、2本目の結果判明は平成29年前半を見込んでおります。MRX-10XTについては、平成27年11月より米国において臨床試験を実施するための非臨床試験を開始しており、米国における治験薬製造について平成28年12月に委託契約を締結したThe Tapemark Company(本社:米国ミネソタ州)に対して製造技術移転を進めております。MRX-5LBTについては、平成28年3月に臨床試験を開始しており、米国においてピーク時年商約1,200億円であったリドカインパップ剤Lidoderm®と同様の特性を示すこと等により早期の新薬承認申請を計画しております。MRX-4TZTについては、現在、非臨床試験を実施中であり、平成28年中に臨床試験を開始する計画です。また、当社の上市製品である褥瘡・皮膚潰瘍治療剤「ヨードコート軟膏」等の製品を提携先の製薬会社を通じて販売してきました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9百万円(前年同期は14百万円)、研究開発費用とその他経費を合わせた販売費及び一般管理費は276百万円(前年同期は252百万円)を計上しました。営業損失は268百万円(前年同期は243百万円)、営業外収益に受取研究開発負担金15百万円、受取賃貸料1.1百万円等、営業外費用に在外子会社の財務諸表項目の換算により生じた為替差損2.6百万円、持分法適用関連会社の研究開発投資が先行していることによる持分法投資損失1.7百万円、第8回新株予約権(行使価額修正条項付き)(第三者割当て)の権利行使による新株発行に係る登録免許税等の株式交付費0.2百万円等により経常損失は256百万円(前年同期は245百万円)、特別利益として経済産業省の「平成26年度戦略的基盤技術高度化支援事業」から21百万円の助成金収入により親会社株主に帰属する四半期純損失は236百万円(前年同期は134百万円)となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて113百万円増加し、3,090百万円となりました。これは主に現金及び預金が122百万円増加したこと等によるものであります。流動資産は2,315百万円となりました。主な内容は、現金及び預金2,185百万円等であります。固定資産は775百万円で、主な内容は投資有価証券432百万円、建物及び構築物175百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて48百万円減少し、156百万円となりました。これは主に未払金の減少51百万円等によるものであります。流動負債は54百万円となりました。主な内容は未払金37百万円等であります。固定負債は101百万円となりました。主な内容は持分法適用に伴う負債81百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて161百万円増加し、2,933百万円となりました。これは主に第8回新株予約権(行使価額修正条項付き)(第三者割当て)の権利行使により資本金、資本剰余金がそれぞれ190百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純損失236百万円により利益剰余金のマイナスが236百万円拡大したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の91.8%から93.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、消炎鎮痛貼付剤ETOREAT®の開発スケジュール見直しを変更したこと及び直近の業績動向等を踏まえ、平成28年2月12日に公表いたしました業績予想を変更しております。消炎鎮痛貼付剤ETOREAT®の開発スケジュール見直し変更の詳細につきましては、本日(平成28年5月12日)公表の「消炎鎮痛貼付剤ETOREAT®の開発スケジュール見直し変更のお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは創薬ベンチャー企業です。

医薬品の研究開発には長期に及ぶ先行投資が必要であり、ベンチャー企業として医薬品の開発に取り組んでいるため、期間損益のマイナスが先行する結果となっております。

当四半期連結会計期間においても営業赤字が継続しているため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況となっておりますが、平成25年2月13日に東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う資金調達、平成25年9月3日に発行した行使価額修正条項付第6回新株予約権(第三者割当て)の行使による資金調達及び平成27年12月7日に発行した第8回新株予約権(行使価額修正条項付き)(第三者割当て)の行使による資金調達により、翌連結会計年度の研究開発活動を展開するための資金は確保できており、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,062,858	2,185,719
売掛金	1,692	129
原材料及び貯蔵品	26,871	26,635
前渡金	76,921	89,054
未収入金	26,966	4,534
その他	8,698	9,341
流動資産合計	2,204,008	2,315,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	178,969	175,897
機械装置及び運搬具(純額)	71,149	65,172
工具、器具及び備品(純額)	27,627	23,459
有形固定資産合計	277,747	264,530
無形固定資産	2,078	1,897
投資その他の資産		
投資有価証券	416,948	432,428
長期前払費用	34,029	33,585
差入保証金	38,426	38,426
その他	4,615	4,615
投資その他の資産合計	494,020	509,055
固定資産合計	773,845	775,483
資産合計	2,977,853	3,090,898
負債の部		
流動負債		
買掛金	962	—
未払金	89,025	37,492
未払法人税等	11,487	8,636
その他	8,115	8,870
流動負債合計	109,591	54,998
固定負債		
繰延税金負債	7,690	12,052
資産除去債務	8,331	8,375
持分法適用に伴う負債	79,755	81,472
固定負債合計	95,777	101,900
負債合計	205,368	156,899

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,614,787	4,804,924
資本剰余金	4,183,987	4,374,124
利益剰余金	△6,077,631	△6,314,462
株主資本合計	2,721,143	2,864,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,260	23,410
為替換算調整勘定	391	511
その他の包括利益累計額合計	12,652	23,921
新株予約権	38,689	45,491
純資産合計	2,772,484	2,933,999
負債純資産合計	2,977,853	3,090,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高		
製品売上高	14,071	9,866
売上高合計	14,071	9,866
売上原価		
製品売上原価	4,900	1,965
売上原価合計	4,900	1,965
売上総利益	9,170	7,901
販売費及び一般管理費	252,676	276,249
営業損失(△)	△243,505	△268,348
営業外収益		
受取利息	243	167
受取賃貸料	—	1,111
受取研究開発負担金	280	15,000
その他	27	77
営業外収益合計	551	16,356
営業外費用		
為替差損	264	2,699
持分法による投資損失	1,981	1,717
株式交付費	—	282
その他	132	137
営業外費用合計	2,378	4,836
経常損失(△)	△245,332	△256,828
特別利益		
助成金収入	111,688	21,115
特別利益合計	111,688	21,115
税金等調整前四半期純損失(△)	△133,644	△235,712
法人税、住民税及び事業税	1,128	1,224
法人税等調整額	△213	△105
法人税等合計	914	1,119
四半期純損失(△)	△134,559	△236,831
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△134,559	△236,831

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△134,559	△236,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△979	11,149
為替換算調整勘定	1,947	119
その他の包括利益合計	968	11,269
四半期包括利益	△133,590	△225,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△133,590	△225,562

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成27年12月7日にEvolution Biotech Fundに対して発行した第8回新株予約権(行使価額修正条項付き)(第三者割当て)の権利行使による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ190,137千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が4,804,924千円、資本剰余金が4,374,124千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは医薬品製剤開発及びこれらの付帯業務の単一事業であるため、記載を省略しております。